

2012年度“ぼらんていあ・フォーラム”に

本学卒業生・小山優子さんをお招きしました！

“ぼらんていあ・フォーラム”は、聖セシリア女子短期大学の建学の精神を具体的に表現する手段の一つである、ボランティア活動の推進・啓発を目的に実施しています。

6月13日（水）、2012年度のフォーラムを開催。全体会講師として、本学の卒業生で、現在株式会社ルルドコーポレーション代表取締役社長を務められている、小山優子さんをお招きしました。

実は小山さん、本学幼児教育学科在学中によく転ぶようになり、卒業後、上智大学のモンテソーリ教員養成コースを経て、幼稚園教諭として勤務されたものの、不治の病・進行性筋ジストロフィーと診断されたのです。筋力が少しずつ衰えていく難病のために車椅子での生活を余儀なくされたうえ、最愛のご両親とお兄様を在宅で看取られ、「死にたい」と思うばかりの日々が続きました。

そんな時、「生と死を考える会」で著名な、アルフォンス・デーケン神父様（現・上智大学名誉教授）に出会い、フランスの聖地ルルドの泉を訪ねる旅へ。そこで、「人は何のために生きるのか。何のために何を学ぶのか」という、聖セシリアの創立者・伊東静江先生の言葉が心に浮かんできたそうです。

「苦しいことも、悲しいことも、楽しいことも、全てが学び。人生はそういう学びの連続ではないでしょうか」

「今日、母校を訪れることができ、若い学生の皆さんとこうして出会うことができたことは本当に幸せです！」

とおっしゃられた時の、輝くようなお顔がとても印象的でした。電動車椅子を巧みに操られ、自ら学生たちに近づいてくださり、大きな十字架を背負っておられるとはとても思えない素敵な笑顔とトークで、親しく接してくださいました。心より感謝申し上げます。

